# BEST AVAILABLE COPY



#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 62242623 A

(43) Date of publication of application: 23.10.87

(51) Int. CI

A61K 31/545 //(A61K 31/545 , A61K 31:195 ), (A61K 31/545 , A61K 31:27 )

(21) Application number: 61085256

(71) Applicant:

**SANKYO CO LTD** 

(22) Date of filing: 14.04.86

(72) Inventor:

SHIOKARI TAKASHI **UEDA SHOGO** IWATA MASAYUKI KAWAHARA YUKINORI

#### (54) CEPHALORIDINE PREPARATION WITH **REDUCED SIDE-EFFECTS**

#### (57) Abstract:

PURPOSE: A cephaloridine preparation that contains a combination thereof with a specific amino acid derivative, thus being used as an antibacterial with reduced nephric toxicity.

CONSTITUTION: Cephaloridine is combined with an amino acid derivative of the formula (R is acyl, alkoxycarbonyl, aralkyloxycarbonyl; X is alkylene which may be substituted such as N-hexanoylglycine. Cephaloridine is a kind of cephalosporin type antibacterial, but causes nephric toxicity when the high dose is given intravenously or intramuscularly. The addition of the amino acid derivative of the formula markedly reduces the toxicity. Since the solubility of the amino acid derivative is low in water, aqueous sodium hydroxide is added to the dispersion of the compound to adjust the pH to 6W9 into a solution, then cephaloridine is added to the solution.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

NHR X COOH

(全20頁)

19日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

### ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62-242623

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)10月23日

A 61 K 31/545 //(A 61 K 31/545 31:195)

7252-4C

7330-4C

(A 61 K 31/545

7330-4C 審査請求 未請求 発明の数 1

図発明の名称

副作用の軽減されたセフアロリジン製剤

②特 願 昭61-85256

20出 願 昭61(1986)4月14日

⑫発 明 者 塩 苅 隆 明 勿発 者 F  $\blacksquare$ 省 善 明 者 岩 ⑫発 田 · IE Ż. 明 渚 79発 Ш 原 則 幸 願 三共株式会社 の出 人 79代 理 弁理士 樫出 庄治

東京都品川区広町1丁目2番58号 三共株式会社内東京都品川区広町1丁目2番58号 三共株式会社内東京都品川区広町1丁目2番58号 三共株式会社内東京都品川区広町1丁目2番58号 三共株式会社内東京都品川区広町1丁目2番58号

東京都中央区日本橋本町3丁目1番地の6

明細 塩

1. 発明の名称

副作用の軽波されたセファロ リジン 製剤

2. 特許請求の範囲

セファロリジンに、式

NHR

X

(1)

(式中、

Rはアシル苺、アルコキシカルポニル苺をたは アラルキルオキシカルポニル苺を示す。

Xは 置換分を有していてもよい アルキレン基を示す。)を有するアミノ酸誘導体を配合することを特徴とする 副作用の軽波されたセファロリグン 製剤。

3.発明の詳細な説明

セファロスポリン型抗生物質であるセファロリ ソンは優れた抗菌作用を示すことが知られている。 しかしながら、これ名の高用量を静脈内または筋 内内注入すると一般に腎能性が認められる。

そこで、本発明者らは腎欝性を軽減すべく鋭意 研究した結果、本発明を完成した。

本発明はセファロスポリン型抗生物質セファロ リジンにアミノ酸誘導体を配合することからなる。 本発明のアミノ酸誘導体は、次式で扱わされる。

NHR
I
X (I)
I
COOH

式中,

Rはアシル苺、アルコキシカルポニル基または アラルキルオキシカルポニル芸を示す。

Xは置換分を有していてもよいアルキレン茜を示す。

前記一般式(1)において、

Rがアシル基を示す場合、

例えばアセチル、プロピオニル、n - ナチリル、 イソプチリル、ペレリル、イソペレリル、ピパロ イル、ヘキサノイル、ヘアタノイル、オクタノイ ル、ノナノイル、デカノイルのような炭器数1万 至18個、好ましくは5乃至8個、を有する脂肪 族飽和アシル基;

例をはアクリロイル、メタクリロイル、クロトノイル、プロピオロイルのような炭素数 3 乃至 8 個、好ましくは 3 乃至 4 個、を有する脂肪族不飽和アシル基;

ル、4-トリルアセチル、4-ヒドロキシフェニルアセチル、4-アミノフェニルアセチル、4-メトキシフェニルアセチル、3-スルホフェニルアセチル、4-クロロフェニルアセチルのようなアリール部分が同一または異なってC1-4 アルキル、ヒドロキシ、C1-4 アルコキシ、アミノ、スルホ、ハロゲンを位換分として1乃至5個、好ましくは1乃至3個、有していてもよく、アルキレン部分がフェニル、C3-6 シクロアルキルで置換されていてもよく、そしてアリール部分が炭素数6乃至14個、好ましくは6乃至10個、を有し、アルキレン部分が炭素数1乃至4個を有する芳香脂肪族アシル話;

例えばニコチニル、2 - チォフェンカルポニル、2 - フロイル、2 - ピラチンカルポニル、2 - ピラチンカルポニル、6 ペリジンカルポニル、N'- メチルニコチニル、6 - ヒドロキシルニコチニルのような環内に同一または異なって翌潔原子、硫黄原子、酸衆原子を1 乃至3 個有し、そして同一又は異なって C<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキンを関換分として1 乃至3 個有し

として1万至5個、好ましくは1万至3個、有していてもよく、アリール部分が炭素数6万至14個、好ましくは6万至10個、を有する芳香族アシル茜;

例えばシクロプロペンカルボニル、シクロプタンカルボニル、シクロペンタンカルボニル、シクロペンタンカルボニル、シクロコー・シクローキサンカルボニル、1-フェニル・1-シクロペンタンカルボニル、1-フェニル・1-シクロペンタンカルボニルのようなシクロアルカン部分がC1-4アルキル、フェニルを置換分として有していてもよく、シクロアルカン部分が炭ス数3万至6個、好ましくは3万至6個、を有する脂環式アシル洗;

例えばフェニルアセチル、(2-フェニル-2 -メチル)アセチル、(2-フェニル-2-エチ ル)アセチル、(2,2-ソフェニル)アセチル、 (2-フェニル-2-シクロペンチル)アセチル、 3-フェニルプロピオニル、4-フェニルプチリ

てもよい、飽和または不飽和の 5 乃至 6 員場から なる複楽以アシル語; をあげることができる。

R がアルコキシカルポニル基を示す場合、例えばメトキシカルポニル、エトキシカルポニル、ロープロポキシカルポニル、イソプロポキシカルポニル、ハープトキシカルボニル、ペンチルオキシカルポニルのような全体として炭素数2乃至7個を有する基をあげることができる。

Rがアラルキルオキシカルポニル甚を示す堪合、例えばペンジルオキシカルポニル、 ローメチルペンシルオキシカルポニル、フェネチルオキシカルポニル、 4 ートリルオキシカルポニル、 4 ーヒドロキシペンシルオキシカルポニル、 4 ーメトキシペンシルオキシカルポニル、 4 ーメトキシペンシカルポニル、 4 ーアミノペンシルオキシカルポニル、 4 ーアミノペンシーカルポニルのようなアリール部分が同一または異なって C<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキシ、 好ましくは 1 乃至 3 闘、有していてもよく、アラルキルのが

炭素数 7 乃至 9 個を有する基をあげることができる。

Rは好流には、炭紫数5万至8個を有する脂肪 族飽和アシル番;アリール部分が同一または異な って C1-4 アルキル、C1-4 アルコキシを放換分と して1乃至3個有していてもよく、アリール部分 が炭素数 6 乃至 1 0 個を有する芳香族アシル番; シクロアルカン部分が炭条数3万至6個を有する 脂煤式アシル基;アリール部分が同一または異な って C1-4 アルキル、 C1-4 アルコキシを 単換分と して1乃至3個有していてもよく、アリール部分 が炭累数6乃至10個を有し、アルキレン部分が 炭素数1乃至4個を有する芳香脂肪族アシル基; 境内に翌累原子、硫費原子または砂累原子を1個 有する飽和または不飽和の 5 乃至 6 負 堤からなる 初紫環アシル基、全体として炭累数2乃至7脳を 有するアルコキシカルポニル器;アリール部分が 同一または異なって C1-4 アルキル、 C1-4 アルコ キシを置換分として1乃至3個有していてもよく、 アラルキル部分が炭素数7乃至9個を有するアラ

えばN - ベンソイルグリシルグリシン、N - ベン ソイルグリシルグリシルグリシンのようなオリゴ ペプチド化合物も含まれる。

前記一般式(1)において、Xがアルキレン基を示 す場合、例えばメチレン、エチリアン、エチレン、 プロピリアン、1 - メチルエチリアン、1 - メチ ルエチレン、トリメチレン、プチリアン、2-メ チルプロピリアン、1-メチルプロピリアン、 1,2 - ジメチルエチレン、1 - エチルエチレン、 1-メチルトリメチレン、2-メチルトリメチレ ン、テトラメチレン、ペンチリデン、3-メチル プチリデン、2-メチルプチリデン、2,2-ジメ チルプロピリデン、1 - エチルプロピリデン、 1,2 - ジメチルプロピリテン、1 - プロピルエチ レン、1-(1-メチルエチル)エチレン、1-エチル・2 - メチルエチレン、1 - エチルトリメ チレン、2-エチルトリメチレン、1,3-ジメチ ルトリメチレン、1-メチルテトラメチレン、2 - メチルテトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキ シリアン、4-メチルペンチリアン、3-メチル

ルキルオキシカルボニル基をあげることができる。 Rは坡適には、アリール部分が C1-4 アルキルを 位換分として 1 個有していてもよく、アリール部 分が炭素数 6 乃至 1 0 個を有する芳香族アシル基; シクロアルカン部分が炭素数 3 乃至 6 個を有する 脂塊式アシル基; アリール部分がフェニルであり、 アルキレン部分が炭素数 1 乃至 4 個を有する芳香 脂肪族アシル基; 全体として炭素数 4 乃至 6 個を 有するアルコキシカルボニル基; アラルキルオキシカルボニル基をあげることができる。

なお、Rがアシル基を示す場合において、該アシル基の意義には以下に述べるものも含まれる。即ち、前述のアシル、アルコキシカルポニル、アラルキルオキシカルポニルがアミノ酸残器と結合して基中に設てミド結合を有するアシル基、例えばN-ベンソイルグリシルグリシルのようなアシル基、を含むものである。

従って、前記一般式(1)を有する化合物には、例

ペンチリアン、2-メチルペンチリアン、1-メ チルペンチリアン、2~エチルプチリアン、1. エチルプチリアン、1.3 - シメチルプチリアン、 1.2 - ジメチルプチリテン、3.3 - ジメチルプチ リアン、2,3 - ジメチルプチリアン、1-プチル エチレン、1-メチル-2-プロピルエチレン、 1,2 - ジエチルエチレン、1 - メチル - 1 - プロ ピルエチレン、2-プロピルトリメチレン、1-エチル・3 - メチルトリメチレン、1 - エチルテ トラメチレン、2-エチルテトラメチレン、1,3 - ジメチルテトラメチレン、1 -メチルペンタメ チレン、2 - メチルペンタメチレン、3 - メチル ペンタメチレン、ヘキサメチレン、ヘプチリアン、 5 - メチルヘキシリアン、4 - メチルヘキシリア ン、3-メチルヘキシリアン、1-メチルヘキシ リアン、3 - エチルペンチリアン、1 - エチルペ ンチリアン、4,4 - シメチルペンチリアン、2,4 - ソメチルペンチリアン、1,2 - シメチルペンチ リアン、1 - プロピルフチリアン、2 - エチル -

1-メチルプチリテン、1-エチル-2-メチル

プチリアン、1.2.2 - トリメチルプチリアン、 1.2.3 - トリメチルプチリデン、1 - ペンチルエ チレン、1-プチル・2-メチルエチレン、1-エチル・2 - プロビルエチレン、1 - プチル・1 -メチルエチレン、1 - エチル - 1 - プロピルエ チレン、1 - プチルトリメチレン、2 - プチルト リメチレン、1.3 - ジエチルトリメチレン、1 -メチル・3 - プロピルトリメチレン、1 - プロピ ルテトラメチレン、2‐プロピルテトラメチレン、 1 - エチル - 4 - メチルテトラメチレン、3 - エ チル・1 - メチルテトラメチレン、1 - エチルペ ンタメチレン、3 - エチルペンタメチレン、1.3 - ジメチルペンタメチレン、1 - メチルヘキサメ チレン、3-メチルヘキサメチレン、ヘアタメチ レン、オクチリデン、6-メチルヘプチリデン、 4-メチルヘプチリアン、2-メチルヘプチリア ン、1-メチルヘプチリアン、4-エチルヘキシ リアン、3~エチルヘキシリアン、2~エチルヘ キシリアン、1-エチルヘキシリアン、3.5 - ジ メチルヘキシリアン、4,5 - シメチルヘキシリア

ペンタメチレン、1 - エチルヘキサメチレン、3 - エチルヘキサメチレン、1,3 - ジメチルヘキサメチレン、1 - メチルヘ アタメチレン、4 - メチルヘプタメチレン、4 - メチルヘプタメチレン、オクタメチレンのような炭素数1 乃至8個、好ましくは1 乃至5 個、のアルキレン基をあげることができる。

上記アルキレン番は同一または異なって1万至4個、好ましくは1万至2個、の健康分を有していてもよく、これらの健康分としては例えば

(1) ヒドロキシ茜;メトキシ、エトキシのような C1-4 アルキル世後ヒドロキシ茜;フェノキシ、4 - トリルオキシ、4 - ヒドロキシフェノキシ、4 - アミノフェノキシ、4 - アミノフェノキシ、4 - アリール世後ヒドロキシ基 (アリール部は同一または異なって1 乃至5個、好ましくは1 乃至3個、のC1-4 アルキル、ヒドロキシ、アミノ、C1-4 アルコキシで置換されていてもよい);ベンジルオキシ、4 - メチルベングルオキシ、4 - ヒドロキシベンシルオキシ、4 - メトキシベン

ン、 2.4 - ジメチルヘキシリアン、 1.5 - ジメチ ルヘキシリテン、1,4 - ジメチルヘキシリテン、 2 - プロピルペンチリアン、1 - プロピルペンチ リアン、2-エチル-4-メチルペンチリアン、 3-エチル-2-メチルペンチリデン、3-エチ ルー1 - メチルペンチリアン、1 - エチル - 3 -メチルペンチリアン、3 - メチル - 1 - プロピル プチリアン、2-メチル-1-プロピルプチリテ ン、1-エチル-2.3-ジメチルプチリデン、1,2 - ジエチルブチリアン、1 - ヘキシルエチレン、 1-メチル-2-ペンチルエチレン、1-プチル - 2 - エチルエチレン、1,2 - ジプロビルエチレ ン、1 - ペンチルトリメチレン、2 - ペンチルト リメチレン、1-ナチル-3-メチルトリメチレ ン、1-プチル-2-メチルトリメチレン、1-エチル・3 - プロピルトリメチレン、1.2 - ジメ チル・3-プロピルトリメチレン、1-プチルテ トラメチレン、1-メチル-4-プロピルテトラ メチレン、1~プロピルペンタメチレン、3-プ ロピルペンタメチレン、2-エチル-4-メチル

ジルオキシのような $C_{7-9}$  アラルキル 置換ヒドロキシ 基(アリール部は同一または異なって 1 乃至 5 個、好ましくは 1 乃至 3 個、の $C_{1-4}$  アルキル、ヒドロキシ、アミノ、 $C_{1-4}$  アルコキシで置換されていてもよい);

シで位換されていてもよい); カルポキシメチ ルチォ、カルポキシエチルチオのようなカルポ キシ -C<sub>1-4</sub> アルキル位換メルカプト益;

③ アミノ盐;メチルアミノ、ツメチルアミノの ようなモノまたはシ-C1-4 アルキル遊換アミノ 盐;フェニルアミノ、4-トリルアミノ、4-ヒドロキシフェニルアミノ、4-アミノフェニ ルアミノ、4-メトキシフェニルアミノのよう なモノまたはジ-C<sub>6-14</sub> Tリール造換アミノ 茜 (アリール部は同一または異なって1乃至5個、 好ましくは 1 乃至 3 個、の C1-4 アルキル、ヒド ロキシ、アミノ、 C1-4 アルコキシで () 換されて いてもよい); ペンジルアミノ、4-メチルペ ンジルアミノ、4 - ヒドロキシベンジルアミノ、 . 4-アミノペンジルアミノ、4-メトキシペン ジルアミノのようなモノまたはジ‐C7-9アラル キル似換アミノ缶(アリール部は同一または異 なって 1 乃至 5 個、好ましくは 1 乃至 3 個、の  $C_{1-4}$  T $\nu$ + $\nu$ . E $^{\dagger}$  $^{}$ コキシで置換されていてもよい);前述のRと

ルのよりな役案堤基;

などをあげることができる。

Xは好適には、炭素数1乃至5個を有するアル キレン基であり、該アルキレン基は同一または呉 なって1乃至2個の趾換分を有していてもよく、 これらの世換分としては、ヒドロキシ菇; C1-4 アルキル假換ヒドロキシ結; C<sub>6-14</sub> アリール 歴換 ヒドロキシ酱(アリール部は同一または異なって 1 乃至 3 個の C<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキシ、アミノ、 C1-4 アルコキシで置換されていてもよい);C7-9 アラルキル 健換ヒドロキシ 基( アリール部は同一 または異なって1乃至3個のC1-4 アルキル、ヒド ロキシ、アミノ、 C1-4 アルコキシで健康されてい てもよい);メルカプト基;C<sub>1-4</sub> アルキル**世換**メ ルカプト番; C<sub>6-14</sub> アリール段換メルカプト番 (アリール部は同一または異なって1乃至3個の C1-4 アルキル、ヒドロキシ、アミノ、C1-4 アルコ キシで世換されていてもよい); C<sub>7-9</sub> アラルキル 置換メルカプト基(アリール部は同一または異な って 1 乃至 3 個の C<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキシ、ア

同意義の基でモノまたはジー健**談された**アミノ基:

- ① フェニル、4-トリル、4-ヒドロキシフェニル、4-アミノフェニル、4-メトキシフェニルのようなC<sub>6-14</sub> アリール路(アリール部は同一または異なって1乃至5個、好ましくは1乃至3個、のC<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキシ、アミノ、C<sub>1-4</sub> アルコキシで強換されていてもよい);
- ⑤ カルポキシル塞;
- ⑥ アミシノ茎(-NH-C-NH<sub>2</sub>);

- ⑥ メチルスルフィニル、エチルスルフィニルの ようなC<sub>1-4</sub> アルキルスルフィニル基;
- ① ピロリル、イミダソリル、ピラソリル、ピリシル、ピラジニル、ピリミジニル、ピリダンニル、インドリジニル、インドリル、インダソリ

ミノ、 C,\_, アルコキシで健換されていてもよい); カルポキシ-C1-4アルキル置換メルカプト盗;アミ ノ茲;モノまたはジ-C1-4アルキル俊換アミノ茲; モノまたはジーC4-14 アリール置換アミノ盐(ア リール部は同一または異なって1乃至3個の01-4 アルキル、ヒドロキシ、アミノ、 Cina アルコキシ で世換されていてもよい);モノまたはジーC7-9 アラルキル世換アミノ盐(アリール部は同一また は異なって1乃至3個の C1-4 アルキル、ヒドロキ シ、アミノ、C1-4 アルコキシで遺換されていても よい);前述のRと同意般の基でモノまたはジー 置換されたアミノ基; Cx-1x アリール基(アリー ル部は同一または異なって1乃至3個のC1-4Tル キル、ヒドロキシ、アミノ、 C<sub>1-4</sub> アルコキシで僅 換されていてもよい);カルポキシル盛;役業環 話をあげることができる。

Xは 收適には、 炭素数 1 乃至 5 個を有するアルキレン基であり、 該アルキレン基は同一または異なって 1 乃至 2 個の 健換分を有していてもよく、 これらの 健換分としては、ヒドロキシ茜; C1-4

アルキル世換ヒドロキシ番;メルカプト番;C1-4 アルキル飲換メルカプト益;アミノ益;モノまた はツ-C-4 アルキル監換アミノ盐;前述のRと何 意義の基でモノまたはジー関換されたアミノ基: C6-14 アリール若(アリール部分は同一または異 なって1乃至3個の C<sub>1-4</sub> アルキル、ヒドロキシ、 アミノ、C1-4 アルコキシで従換されていてもよい); カルポキシル番、複菜煤基をあげることができる。 前記一般式(1)を育するアミノ酸誘導体において、 好適には、グリシン、β-アラニン、4-アミノ プタン酸、5-アミノペレリアン酸、6-アミノ ヘキサン散、8-アミノオクタン酸、アラニン、 2 - アミノプタン 飲、ノル ペリン、 ペリン、ロイ シン、イソロイシン、ノルロイシン、フェニルグ リシン、フェニルアラニン、チロシン、〇-メチ ルチロシン、アスペラギン盥、グルタミン酸、4 - カルポキシグルタミン酸、3 - メチルアスパラ ギン酸、2-アミノアジピン酸、2-アミノピメ

アミノブタン酸、 5 - アミノバレリアン酸、 6 - アミノヘキサン酸、 8 - アミノオクタン酸、 アラニン、ノルパリン、 パリン、ロイシン、イソロイシン、フェニルグリシン、フェニルグリシン、 N<sup>8</sup>- ジメチルオルニチン、メチオニン、エチオニン、0 - メチルセリン、3 - メチルトレオニン、エトキシニン、3 - メトキンパリン、3 - フェニルセリン、2 - エドロン、3 - メチルフェニルアラニン、2 - メチルフェニルグリン、3 - アミノフタン酸、 3 - アミノー4 - メチルバレリアン酸、 3 - アミノー3 - フェニルプロピオン酸、 3 - アミノー3 - フェニルプロピオンの 8 3 4 体をあげることができる。

リン酸、2-アミノスペリン酸、3-ヒドロキシ

アスパラギン盥、3-ヒドロキシグルタミン酸、

更に特に は 適に は、β- アラニン、4- アミノ ブタン酸、5- アミノベレリアン酸、6- アミノ ヘキサン酸、アラニン、パリン、ロイシン、ノル ロイシン、フェニルグリシン、フェニルアラニン、 メチォニン、ヒスチジンの 誘導体をあげることが できる。

2.3 - ジアミノプロピオン設、2.4 - ジアミノブ タン位、オルニチン、リジン、5 - ヒドロキシリ ソン、アルギニン、Nº -シメチルオルニチン、№ - メチルリジン、システィン、メチオニン、エチ オニン、S-カルポキシメチルシスティン、S-マンジルシスティン、メチオニンスルホキシド、 エチォニンスルホキシド、メチオニンスルホン、 システィン般、セリン、0 - メチルセリン、トレ オニン、0-メチルトレオニン、ホモセリン、エ トキシニン、3-メトキシパリン、3-フェニル セリン、3-メチルフェニルアラニン、ヒスチジ ン、トリプトファン、2-メチルアラニン、2-メチルセリン、2 - ヒドロキシイソロイシン、 - メチルメチオニン、2-エチルフェニルグリシ ン、3-Tミノアタン酸、3-Tミノー4-メチ ルパレリアン盥、3-アミノ-3-フェニルプロ ピオン酸、3-Tミノ-2-ヒドロキシプロピオ ン酸、4-アミノ-3-ヒドロキシブタン酸の誘 導体をあげることができる。

更に最適には、グリシン、β-アラニン、4-

また、前記一般式(1)を有するアミノ酸勝導体が シペプチド型、トリペプチド型のようなオリゴペ プチド化合物である場合、これらは好ましくは月 - アラニン、4- アミノプタン酸、5- アミノバ レリアン酸、6-アミノヘキサン酸、アラニン、 **ペリン、ロイシン、ノルロイシン、フェニルグリ** シン、フェニルアラニン、メチオニン、ヒスチジ ンからなるアミノ酸を適宜組合せた化合物(例え はロイシルグリシン、グリシル - β - アラニン、 グリシルアラニン、 ペリルアラニン(ロイシルアラ ニン、グリシルバリン、アラニルバリン、ロイシ ルパリン、パリルロイシン、フェニルアラニルロ イシン、ヒスチジルロイシン、グリシルフェニル アラニン、アラニルフェニルアラニン、ロイシル フェニルアラニン、グリシルメチオニン、パリル メチオニン、グリシルヒスチジン、アラニルパリ ルグリシン、グリシルアラニルベリン、グリシル フェニルアラニルロイシン、グリシルグリシルヒ スチジンなど)の誘導体をあげることができる。

本発明の前記一般式(1)を有するアミノ酸誘導体

#### 特開昭62-242623 (7)

としては、例えば次のような化合物をあげることができる。なお、これらの化合物にはD体、L体。 DL体等が存在するが、いずれをも使用しうる。

- 1. グリシン誘導体
- 1-1. N ヘキサノイルグリシン
  - 2. N-ヘアタノイルグリシン
  - 3 N-オクタノイルグリシン
  - 4. N-ノナノイルグリシン
  - 5. N-アカノイルグリシン
  - 6. N (4 トルオイル) グリシン
  - 7. N-(4-メトキシペンソイル)グリシン
  - 8. N (1 ナフトイル) グリシン
  - 9. N-(1-フェニル-1-シクロヘキサンカルボ ニル) グリシン
- 10. N [ ( 2.2 ジフェニル )アセチル] グリシン
- N [(2 フェニル 2 シクロペンチル)アセチル]グリシン
- 12. N-1-プトキシカルポニルグリシン
- 13 N-オクタノイルロイシルグリシン
- 14. N ペンナイルロイシルグリシン
- 15. N-れ-ナトキシカルポニルロイシルグリシン
- 12. N (4 メトキンフェニルアセチル) β - アラニン
- 13. N-t-プトキシカルポニル-β-Tラニン
- 14. N ペンジルオキシカルポニル β アラニン
- N (4 メトキシペンジルオキシカルポニル) β Τラニン
- N ( 4 メチルペンジルオキシカルポニル) β アラニン
- N (α-メチルペンジルオキシカルポニル) β Τラニン
- 18. N ペンナイルグリシル β アラニン
- 19. N ~ ( 1 ナフトイル ) グリシル ガーアラニン
- 20. N シクロヘキサンカルポニルグリシル β - アラニン
- 21. N ベンジルオキシカルポニルグリシル β - アラニン
- 22. N ペンソイル β アラニン
- 3. 4-アミノプタン酸誘導体
- 3-1. N-ヘキサノイル-4-アミノブタン酸
  - 2. N-ヘプタノイル・4-アミノブタン酸
  - 3. N-ペンソイル-4-アミノナタン放
  - 4. N-(4-トルオイル)-4-アミノアタン酸
  - 5. N- (3-メトキシペングイル)-4-アミノブタン酸

- 16. N-オクタノイルアラニルパリルグリシン
- 17. N ペンソイルアラニルバリルグリシン
- 18. N シクロヘキサンカルポニルアラニルバ リルグリシン
- 19. N 九 プトキシカルポニルアラニルバリルグリシン
- 2. β-アラニン誘導体
  - 2-1. N ヘキサノイル β アラニン
    - 2. N ヘプタノイル ガ アラニン
    - 3 N オクタノイル 8 アラニン
    - 4. N / ナノイル 8 アラニン
    - 5. N ~ (4 ~ トルオイル) ~ β ~ アラニン
    - 6. N ( 4 メトキシベンゲイル ) β ア ラニン
    - N (3 ヒドロキシ 2 ナフトイル)
       -β-アラニン
    - N (1 フェニル 1 シクロペンタンカルポニル) β アラニン
    - 9. N [ ( 2.2 ジフェニル ) アセチル ] -· β - アラニン
    - N (3 フェニルプロピオニル) β アラニン
    - 11. N ( 4 フェニルプチリル ) β アラ
    - 6. N ンクロペンタンカルポニル 4 Tミ ノブタン酸
    - 7. N シクロヘキサンカルポニル 4 アミ ノブタン酸
    - 8. N ( 1 フェニル 1 シクロプロパンカルポニル ) 4 アミノブダン酸
    - 9. N (1 フェニル 1 シクロペンタンカルポニル) 4 Tミノアタン設
    - 10. N-フェニルアセチル・4 -アミノアタン設
    - 11. N (3-フェニルプロピオニル) 4~ アミノブタン酸
  - 12. N ( 4 トリルアセチル ) 4 アミノ ナタン酸
  - 13. N-ニコチニル-4-アミノブタン餃
  - 14. N- 九 プ ト キ シ カ ル ポ ニ ル 4 アミノアタン酸
  - 15. N ペンジルオキシカルポニル 4 アミノブタン酸
  - 16. N ( 3 フェニルプロポキシカルポニル) - 4 - アミノナタン酸
  - 17. N (α-メチルペンジルオキシカルボニル) 4 Tミノアタン(α 18. N- (1-ナフトイル) - 4-アミノブタン(食
- 18. N- (1-ナフトイル)-4-アミノファタン画象 4. 5 - アミノペレリアン酸誘導体
- 4-1. N n プチリル 5 アミノバレリアン酸
  - 2. N-インプチリル-5-アミノバレリアン酸
  - 3. N-パレリル-5-アミノパレリアン設

#### 特開昭 62-242623 (8)

- 4 N-イソパレリル-5-アミノパレリアン設
- 5. N‐ヘキサノイル‐5‐アミノパレリアン酸
- 6. N-ペンソイル-5-アミノパレリアン酸
- 7. N ( 3 トルオイル ) 5 アミノペレ リアン酸
- 8. N (2-メトキシベンソイル)-5-T ミノベレリアン酸
- 9. N シクロペンタンカルポニル 5 アミ ノベレリアン酸
- 10. N シクロヘキサンカルポニル 5 アミ ノベレリアン酸
- N (1-フェニル-1-シクロプロペンカルポニル)-5-アミノペレリアン酸
- N-(1-フェニル・1-シクロヘキサンカルボニル)-5-アミノバレリアン酸
- 13. N-フェニルアセチル-5-アミノパレリアン設
- 14. N-[(2-フェニル-2-メチル)アセ チル]-5-アミノバレリアン 叡
- 15. N ニコチニル 5 アミノパレリアン酸
- N-(2-チオフェンカルポニル)-5-アミノバレリアン酸
- 17. N‐(2‐フロイル)‐5‐アミノパレリアン酸
- 18. N -イソプロポキシカルポニル 5 Tミ ノバレリアン設
- 11. N ベンソイル 6 アミノヘキサン酸
- 12. N‐(2-トルオイル)-6-アミノヘキサン酸
- 13. N (4-メトキシベンソイル) 6-アミノヘキサン酸
- 14. N ( 4 アミノペンソイル ) 6 アミノヘキサン酸
- 15. N‐(1‐ナフトイル)‐6‐アミノヘキサン酸
- N シクロ アタンカル ポニル 6 T ミノ ヘキサン酸
- N シクロペンタンカルポニル 6 Tミノヘキサン酸
- 18. N シクロヘキサンカルポニル 6 アミノヘキサン酸
- 19. N-フェニルアセチル-6-アミノヘキサン 酸
- N-(3-フェニルプロピオニル)-6-アミノヘキサン酸
- 21. N-ニコチニル・6-アミノヘキサン酸
- 22. N (2-チオフェンカルポニル) 6-アミノヘキサン酸
- 23. N-メトキシカルポニル-6-アミノヘキサン酸
- 24. N エトキシカルポニル 6 アミノヘキサン酸
- 25. N 九 ナトキシカルポニル 6 Tミノ ヘキサン酸

- 19. N ペンチルオキシカルポニル 5 丁ミノバレリアン酸
- 20. N ベンジルオキシカルポニル 5 丁ミノパレリアン酸
- 21. N ( 4 メトキシベンジルオキシカルポニル ) 5 アミノバレリアン敵
- 22. N ( 4 メチルペンジルオキシカルポニル) 5 Tミノベレリアン酸
- 23. N ( 4 ヒドロキシフェニルアセチル ) - 5 - アミノペレリアン設
- 24. N ( N'- メチルニコチニル ) 5 ナミ ノバレリアン酸
- 5. 6-アミノヘキサン酸酚導体
- 5-1. N アセチル 6 アミノヘキサン酸
  - 2. N ---- プロピオニル-6-Tミノヘキサン酸
  - 3. N-n-プチリル-6-アミノヘキサン酸
  - 4 N-イソプチリル-6-アミノヘキサン酸
  - 5. N-イソペレリル-6-アミノヘキサン飲
  - 6. N ヘキサノイル 6 アミノヘキサン酸
  - 7. N-アクリロイル-6.-アミノヘキサン酸
  - B. N-メタクリロイル-6-アミノヘキサン酸
  - 9. N-クロトノイル-6-アミノヘキサン酸
  - 10. N-プロピオロイル-6-アミノヘキサン酸
- 26. N ペンチルオキシカルポニル 6 ~ アミノヘキサン酸
- 27. N ペンジルオキシカルポニル 6 アミ ノヘキサン酸
- 28. N フェネチルオキシカルポニル 6 ア ミノヘキサン酸
- 29. N ( 3 フェニルプロポキシカルポニル) - 6 - アミノヘキサン酸
- 30. N ( 4 メトキシベンジルオキシカルポニル ) 6 アミノヘキサン酸
- 31. N ( 4 メチルペンジルオキシカルポニル ) 6 アミノヘキサン酸
- 32. N (α-メチルペンジルオキシカルポニル) 6 アミノヘキサン酸
- 33. N ( N'- メチルニコチニル ) 6 アミ ノヘキサン酸
- 34. N ( 4 クロロフェニルアセチル )-6 -アミノヘキサン酸
- 6. 8-アミノオクタン酸誘導体
- 6-1. N-アセチル-8-アミノオクタン設
  - 2. N-パレリル-8-アミノオクタン設
  - 3. N ペンソイル 8 アミノオクタン設
  - 4. N (3-ヒドロギシペンソイル)- 8 -アミノオクタン酸
  - 5. N-(3-スルホペンソイル)-8-アミノオクタン酸

- 6. N シクロプロパンカルポニル 8 すミ ノオクタン酸
- 7. N ( 4 アミノフェニルアセチル ) 8 - アミノオクタン設
- 8. N メトキシカルポニル 8 T ミノオク タン酸
- 9. N n プロポキシカルポニル 8 -アミノオクタン酸
- 10. N イソプロポキンカルポニル 8 -アミノオクタン設
- N ベンジルオキシカルポニル 8 Tミ ノオクタン酸
- 12. N (4 ヒドロキシペンジルオキシカルポニル) 8 アミノオクタン酸
- 13. N ( N'- メチルニコチニル ) 8 アミ ノオクタン酸
- 14. N (6-ヒドロキシニコチニル) 8 -アミノオクタン酸
- 7. アラニン誘導体
- 7-1. Nーパレリルアラニン
  - 2. N ヘキサノイルアラニン
  - 3 N ペンソイルアラニン
  - 4. N (4 メトキシペンソイル) アラニン
  - 5. N~(1-ナフトイル)アラニン
  - 23. N~(2-プロモペンソイル) アラニン
- 8. 2-アミノプタン酸誘導体
- 8-1. N-ピパロイル-2-アミノプタン酸
  - 2. N ヘキサノイル 2 アミノナタン酸
  - 3. N‐ヘプタノイル・2 アミノプタン酸
  - 4. N-ペンソイル-2-アミノアタン酸
  - 5. N (4 トルオイル) 2 アミノブタン酸
  - N-(1-フェニル-1-シクロペンタンカルポニル)-2-アミノアタン酸
  - 7. N [ ( 2,2 ジフェニル ) アセチル ] -2 - アミノアタン酸
  - & N エトキシカルポニル 2 アミノプタン設
  - 9. N ペングルオキシカルポニル 2 Tミ ノブタン酸
  - 10. N ( 4 メトキシベンジルオキシカルポニル ) 2 アミノナタン酸
- 9. ノルペリン誘導体
  - 9-1. N パレリルノルパリン
    - 2. N アカノイルソルバリン
    - 3 N ペンソイルノルペリン
    - 4. N (3 トルオイル) ノルペリン

- 6. N (1 フェニル 1 シクロプロペン カルポニル) アラニン
- 7. `N フェニルアセチルアラニン
- 8. N-1-プトキシカルポニルアラニン
- 9. N ペンジルオキシカルポニル アラニン
- 10. N (α-メチルペンジルオキシカルポニ ル)アラニン
- 11. N-オクタノイルグリシルアラニン
- 12. N ペンソイルグリンルアラニン
- 13. N-九-プトキシカルポニルグリシルアラニン
- 14. N-ペンナイルペリルアラニン
- 15. N ( 4 トルオイル) パリルアラニン
- N シクロペンタンカルポニルバリルアラニン
- 17. N シクロヘキサンカルポニルベリルアラニン
- 18. N ベンジルオキシカルポニルバリルアラニン
- 19. N-ペンソイルロイシルアラニン
- 20. N (4 メトキシベンゾイル)ロイシル アラニン
- 21. N-n-アトキシカルポニルロイシルアラニン
- 22. N-ペンジルオキシカルポニルロイシルアラニン
  - 5. N (3 スルホペンソイル) ノルパリン
  - 6. N シクロヘキサンカルポニルノルパリン
- N (1 フェニル 1 シクロヘキサンカルポニル)ノルペリン
- 8. N [ ( 2 フェニル 2 エチル ) アセ チル ] ノルパリン
- 9. N ( 4 メトキシフェニルアセチル ) ノ ルイリン
- 10. N‐(2‐ピポラチンカルポニル)ノルペリン
- 11. N-ペンジルオキシカルボニルノルパリン
- 12. N (4 メチルベンジルオキシカルボニル) ノルベリン
- 10. ペリン誘導体
- 10-1. N --- プロピオニルバリン
  - 2. N n プチリルペリン
  - 3. N-イソアチリルペリン
  - 4. N N V I N M I V
  - 5. N-アクリロイルパリン
  - 6. N-メタクリロイルペリン
  - 7. N クロトノイルペリン
  - 8 N-プロピオロイルバリン
  - 9. N-(2-メトキシペンソイル)パリン

- 10. N ( 4 n プトキシベンソイル)パリン
- 11. N シクロペンタンカルポニルペリン
- 12. N シクロヘキサンカルポニルバリン
- 13. N ( 1 フェニル 1 シクロペンタン カルポニル)ペリン
- N-フェニルアセチルバリン
- 15. N ニコチニルパリン
- N ~ (2 ピペリジンカルポニル)パリン
- N-エトキシカルポニルバリン
- N-イソプロポキシカルポニルベリン
- N-t-プトキシカルポニルバリン 19.
- 20. N ペンチルオキシカルポニルバリン
- 21. N マンジルオキシカルポニルパリン
- 22. N ( 4 トリルアセチル) ペリン
- N マンナイルグリシルベリン
- N-(4-トルオイル)グリシルバリン
- N (1 ナフトイル) グリシルバリン
- N シクロペンタンカルポニルグリシルバリン
- N n ナトキシカルポニルグリシルバリン
- N オクタノイルアラニルベリン 28.
- 11. ロイシン誘導体
- 11-1. N n プチリルロイシン
  - 2. N イソバレリルロイシン
  - 3. N ペンゾイルロイシン
  - N ( 4 a ナチルペンゲイル )ロイシン
  - 5. N (2 ヒドロキシベンプイル)ロイシン
  - 6. N (3 スルホペンプイル)ロイシン
  - 7. N‐シクロペンタンカルポニルロイシン
  - 8 N シクロヘキサンカルポニルロイシン
  - N ~ ( 1 フェニル 1 シクロプロペン カルポニル)ロイシン
  - 10. N-フェニルアセチルロイシン

  - 12. N-エトキシカルポニルロイシン
  - 13 N-ペンジルオキシカルポニルロイシン
  - N ( 4 ヒドロキシフェニルアセチル )
  - 15. N ペンソイルペリルロイシン
  - 16 N-エトキシカルポニルバリルロイシン
  - 17. N ペンソイルフェニルアラニルロイシン
  - 18. N-フェニルアセチルフェニルアラニルロイシン

- 29. N ベンソイルアラニルベリン
- 30. N (4 トルオイル) アラニルパリン
- N (4-アミノベンソイル)アラニルペリン
- 32. N ( 1 ナフトイル.) アラニルパリン
- 33 N-シクロヘキサンカルポニルアラニルペリン
- 34. N-フェニルアセチルアラニルペリン
- 35. N-ペンジルオギシカルポニルアラニルペリン
- 36. N ペンソイルロイシルペリン
- 37. N ペンソイルグリシルアラニルペリン
- 38. N ( 4 トルオイル ) グリシルアラニルペリン
- 39. N ~ (1-ナフトイル) グリシルアラニルバリン
- 40. N シクロペンタンカルポニルグリシルT
- 41. N-n-プトキシカルポニルクリシルアラ ニルベリン
- 42. N-ベンジルオキシカルポニルグリシルア ラニルバリン
- 43. N ( N'- メチルニコチニル ) バリン
- N-(3-フルオロペンゾイル) パリン
- 45. N ペンテイルバリン
- 46. N-t-プトキシカルポニルバリン
- 19. N ペンジルオキシカルポニルフェニルアラニルロイシン
- 20. N ベンソイルヒスチジルロイシン
- N ~ ( 4 トルオイル ) ヒスチジルロイシン
- 22. N ( 4 ヒドロキシベンソイル ) ヒスチ シルロイシン
- 23. N ( 1 ナフトイル ) ヒスチジルロイシン
- N ベンナイルグリシルフェニルアラニル
- N ( 4 メトキシペンナイル ) グリシルフェニルアラニルロイシン
- 26. N - フェニルアセチルグリシルフェニルア
- ラニルロイシン 27. N-t‐フトキシカルボニルロイラン 12. イソロイシン誘導体
- 12-1. N パレリルイソロイシン
  - 2. N ピペロイルイソロイシン
  - N-オクタノイルイソロイジン
  - N ペンナイルイソロイシン
  - N (3 ヒドロキシペンソイル)イソロ
  - N シクロペンタンカルポニルイソロイシン
  - N シクロヘキサンカルポニルイソロイシン
  - N-(1-フェニル-1-シクロペンタカルポニル)イソロイシン

- 9. N‐フェニルアセチルイソロイシン
- 10. N メトキシカルポニルイソロイシン
- 11. N-n-プロポキシカルポニルイソロイシン
- 12. N イソプロポキシカルポニルイソロイシン
- 13. N-ペンジルオキシカルポニルイソロイシン
- 13. ノルロイシン誘導体
- 13-1. N ---- プロピオニルノルロイシン
  - 2. N ペレリルノルロイシン
  - 3. N-ピパロイルノルロイシン
  - 4. N-ノナノイルノルロイシン
  - 5. N ペンソイルノルロイシン
  - 6. N ( 4 ヒドロキシベンソイル ) ノルロイシン
  - 7. N シクロヘキサンカルポニルノルロイシン
  - 8. N-(1-フェニル-1-シクロプロペン カルポニル)ノルロイシン
  - 9. N [ ( 2 フェニル 2 エチル ) アセ チル ] ノルロイシン
  - 10. N-エトキシカルポニルノルロイシン
  - 11. N n プロポキシカルポニルノルロイシ
  - 12. N-t-プトキシカルポニルノルロイシン
  - 13. N-ベンジルイキシ カルボニルノル ロイシン
    - 16.N-(1-ナフトイル)フェニルグリシン
    - 17.H-シクロプロパンカルポニル
      - フェニルグリシン
    - 18.N-シクロヘキサンカルポニル
      - ・フェニルグリシン
    - 19.N-ニコチニルフェニルグリシン
    - 20.N-(2-チォフェンカルポニル)
      - フェニルグリシン
    - 21.N-(2-フロイル)フェニルグリシン
    - 22.N-メトキシカルポニルフェニルグリシン
    - 23.N-エトキシカルポニルフェニルグリシン
    - 24.H-n-プトキシカルポニルフェニルグリシン
    - 25.N-ペンジルオキシカルポニル
      - フェニルグリシン
    - 26.N-(4-メトキシペンジルオキシカルポニル)
      - フェニルグリシン
    - 27.H-(4-クロロペンゾイル)フェニルグリシン
    - 28.N-アセチルフェニルグリシン
    - 29.N-ペンソイルフェニルグリシン

- 14.フェニルグリシン誘導体
- 14-1.N-プロピオニルフェニルグリシン
  - 2.N-n-ブチリルフェニルグリシン
  - 3.N-イソブチリルフェニルグリシン
  - 4.N-バレリルフェニルグリシン
  - 5.N-ヘキサノイルフェニルグリシン
  - 6.N-ヘプタノイルフェニルグリシン
  - 7.N-オクタノイルフェニルグリシン
  - 8.N-ノナノイルフェニルグリシン
  - 9.H-デカノイルフェニルグリシン
  - 10.N-クロトノイルフェニルグリシン
  - 11.N-(4-トルオイル)フェニルグリシン
  - ·12.N-(4-ヒドロキシベンソイル)
    - ` フェニルグリシン
  - 13.N-(4-メトキシベンゾイル)
    - フェニルグリシン
  - 14.N-(4-アミノペンゾィル)
    - フェニルグリシン
  - 15.N-(4-スルホペンソイル)
    - フェニルグリシン
- 15. フェニルアラニン誘導体
- 15-1. N プロピルオニルフェニルアラニン
  - 2. N n プチリルフェニルアラニン
  - 3. N イソプチルフェニルアラニン
  - 4. N パレリルフェニルアラニン
  - 5. N ヘキサノイルフェニルアラニン
  - 6. N ヘプタノイルフェニルアラニン
  - 7. N-オクタノイルフェニルアラニン
  - 8. N-ノナノイルフェニルアラニン
  - 9. N-デカノイルフェニルアラニン
  - N クロトノイルフェニルアラニン
  - 11. N-(4-トルオイル)フェニルアラニン
  - 12. N (4 ヒドロキシベンゾイル)フェニルアラニン
  - 13. N- (4-メトキシベンソイル)フェニルアラニン
  - 14. N-(4-アミノベンソイル)フェニルアラニン
  - 15. N (4-スルホペンゾイル)フェニルアラニン
  - 16. N (1-ナフトイル)フェニルアラニン
  - 17. N-シクロプロペンカルポニルフェニルアラニン
  - 18. N-シクロヘキサンカルポニルフェニルアラニン

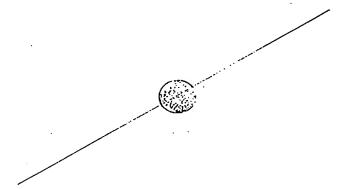
#### 特開昭 62-242623 (12)

- 19. N ニコチニルフェニルアラニン
- N (2 チオフェンカルポニル)フェニル アラニン
- 21. N ( 2 フロイル ) フェニルアラニン
- 22. N-メトキシカルポニルフェニルアラニン
- 23. N-エトキシカルポニルフェニルアラニン
- 24. N-n-プトキシカルポニルフェニルアラニン
- 25. N ペンジルオキシカルポニルフェニルアラニン
- N (4 メトキシベンジルオキシカルポニル) フェニルアラニン
- 27. N-ベンソイルグリシルフェニルアラニン
- 28. N-(4-ヒドロキシベンソイル) グリシルス ニルアラニン
- 29. N ( 1 ナフトイル ) グリシルフェニルアラニン
- 30. N エトキシカルポニルグリシルフェニルアラニン
- N ベンジルオキシカルポニルグリシルフェニルアラニン
- 32. N・ペンソイルアラニンフェニルアラニン
- 33. N ( 4 トルオイル ) アラニルフェニルアラニン
- 34. N (4 ヒドロキシベンソイル) アラニルフェニルアラニン

#### 16. チロシン誘導体

- 16-1. N ペンソイルチロシン
  - 2. N (3-メトキシペンソイル)チロシン
  - 3. N シクロヘキサンカルポニルチロシン
  - 4. N ペンジルオキシカルポニルチロシン
  - 5. N-フェネチルオキシカルポニルチロシン
- 17. 0 メチルチロシン誘導体
- 17-1. N-アセチル-0-メチルチロシン
  - 2. N-プロピオロイル O メチルチロシン
  - 3. N-ペンナイル・ローメチルチロシン
  - 4. N (4 アミノベンソイル) O メチル チロシン
  - N (1 フェニル 1 シクロペンタンカルボニル) 0 メチルチロシン
  - N (1 フェニル-1 シクロヘキサンカルポニル) 0 メチルチロシン
  - 7. N-メトキシカルポニル・0-メチルチロシン
  - N ペンジルオキシカルポニル O メチル チロシン
  - N フェネチルオキシカルポニル 0 メチルチロシン

- 35. N (4 アミノベンソイル) アラニルフェニ ルアラニン
- 36. N (.1 ナフトイル ) アラニルフェニルアラ
- 37. N ベングルオキシカルポニルアラニ ルフェニ ルアラニン
- 38. N-ベンゾイルロイシルフェニルアラニン
- 39. N (4 ヒドロキシベンソイル)ロイシルフェニルアラニン
- 40. N シクロヘキサンカルポニルロイシルフェニ ルアラニン
- N ペンジルオキシカルポニルロイシルフェニ ルアラニン
- 42. N-アセチルフェニルアラニン
- 43. N-ペンナイルフェニルナラニン



#### 18. アスペラヤン酸誘導体

- 18-1. N-ヘプタノイルアスパラギン酸
  - 2. N-デカノイルアスペラギン酸
  - N-(4-ヒドロキシベンソイル)アスペラギン酸
  - 4. N (3 ヒドロキシ-2 ナフトイル) アスパラギン酸
  - N (1 フェニル 1 シクロペンタンカル ポニル)アスペラギン酸
  - N-(1-フェニル-1-シクロヘキサンカル ポニル) アスペラギン酸
  - 7. N-ペンジルオキシカルポニルアスパラギン酸
  - 8. N (4 メトキシベンジルオキシカルポニル) アスペラヤン酸
- 19. グルタミン酸誘導体
- 19-1. N・ノナノイルグルタミン酸
  - 2. N‐(4‐メトキシペンソイル)グルタミン酸
  - 3. N-(1-ナフトイル)グルタミン酸
  - 4. N-(1-フェニル-1-シクロペンタンカル ポニル) グルタミン酸
  - 5. N ペンジルオキシカルポニルグルタミン酸 6. N - ベンゾイルグルタミン酸
- 20. 4-カルポキシグルタミン酸誘導体
  - 20-1. N ヘプダノイル・4 カルポキシグルタミン酸

- N-(4-メトキシベンソイル)-4-カル ポキシグルクミン酸
- N-(1-ナフトイル)-4-カルポキシ グルタミン設
- 4. N (1 ヒドロキシ 2 ナフトイル) -4 - カルポキシグルタミン酸
- N-フェニルアセチル-4-カルポキシグルタミン酸
- 21. 3-メチルアスパラギン酸誘導体
- 21-1. N・オクタノイル・3・メチルアスパラヤン酸
  - N-(4-メトキシペンソイル)-3-メチル アスパラギン酸
  - N-((2-フェニル-2-シクロペンナル) アセチル)-3-メチルアスペラギン酸
- 22. 2-アミノアジピン酸誘導体
- 22-1. N-ヘキサノイル-2-アミノアジピン酸
  - 2. N-ペンソイル-2-アミノアジピン改
  - 3. N (4 トルオイル) 2 アミノアジピン酸
  - 4. N-(1-ナフトイル)-2-アミノアジピン酸
  - N-(4-フェニルプチリル)-2-アミノアジ ピン酸
  - 6. N-フェニルアセチル-2-アミノアジピン酸
  - 7. N-エトキシカルポニル-2-アミノアジピン酸
  - N-[(2-フェニル-2-エチル)アセチル]-3-ヒドロキシアスパラギン酸
- 26. 3 ヒドロキシグルタミン酸誘導体
- 26-1. N (1-ナフトイル) 3-ヒドロキシ グルタミン酸
  - N-(1-フェニル-1-シクロヘキサンカルポニル)-3-ヒドロキシグルタミン酸
  - N-((2,2-ジフェニル)アセチル]-3-ヒドロキシグルタミン酸
- 27. 2,3 ジアミノプロピオン酸
- 27-1.  $N^{\alpha}$  ヘギサノイル 2,3 ジアミノプロピオン酸
  - N<sup>d</sup>-(4-n-プチルペンプイル)-2,3-ジアミノプロピオン酸
  - N<sup>a</sup>,N<sup>β</sup>- シペンソイル 2,3 ジアミノプロ ピオン酸
  - N<sup>a</sup>- (1-フェニル-1-シクロペンタンカルボニル)-2.3-ジアミノプロピオン酸
  - 5. N°- ( ( 2 フェニル 2 エチル ) アセチル) - 2,3 - ジアミノプロピオン酸
- 28. 2.4 シアミノプタン酸誘導体
- 28-1. N<sup>d</sup>- (1-ナフトイル) 2,4 ジアミノプタン俄
  - 2. N°.N'- シベンソイル-2,4 シアミノブタン酸
  - N<sup>a</sup>-(1-フェニル-1-シクロペタンカルポニル)-2,4-ソアミノプタン酸

- 23. 2-アミノピメリン酸誘導体
- 23-1. N- ペレリル 2 アミノピメリン酸
  - 2. N-ペンソイル-2-アミノピメリン酸
  - N-(3-フェニルプロピオニル)-2-アミノピメリン酸
  - 4. N-メトキシカルポニル-2-Tミノピメリン酸
  - 5. N-エトキシカルポニル-2-Tミノピメリン酸
  - N-ベンジルオキシカルポニル-2-アミノ、 ピメリン酸
- 24. 2-アミノスペリン酸誘導体
  - 24-1. N-n-プチリル-2-アミノスペリン酸
    - 2. N-ペンソイル-2-アミノスペリン酸
    - 3. N~(1-ナフトイル)-2-アミノスペリン酸
    - 4. N (2-フェニル-2-シクロペンチル) - 2 - アミノスペリン酸
    - 5. N-メトキシカルポニル-2-アミノスペリン酸
    - 6. N-n-プロポキシカルポニル-2-アミノ スペリン酸
- 25. 3-ヒドロキシアスパラヤン酸誘導体
  - 25-1. N (1-ナフトイル) 3 ヒドロキシ アスパラヤン酸
    - 2. N (1 フェニル 1 シクロヘキサン カルポニル) - 3 - ヒドロキシアスパラギン酸
    - N°-〔(2-フェニル-2-エチル)アセチル〕-2,4-ジアミノナタン酸
- 29. オルニチン誘導体
- 29-1. No-ペンジルオキシカルポニルオルニチン
  - N<sup>d</sup> (4 メトキシベンジルオキシカルポニ ル)オルニチン
  - 3.  $N^{\alpha}$ ,  $N^{\beta}$   $\sqrt{2}$
  - N<sup>α</sup>, N<sup>δ</sup> ジ(4 メトキシベンジルオキシカル ポニル) オルニチン
  - 5. N<sup>α</sup>- イレリルオルニチン
  - 6. Na, Na ソヘキサノイルオルニチン
  - 7. Na,Na- ツベンソイルオルニチン
  - 8.  $N^{\alpha}$   $\nu$   $\nu$
  - 9. Na, Na ジー t プトキシカルポニルオルニ チン
- 30. リジン誘導体
- - N°- (4-メトキシベンジルオキシカルボニル)リジン
  - 3. Na, Na シベンシルオキシカルポニルリジン
  - 4. N°,N°-ジ(4-メトキシベンジルオキシカルボニル)リジン
  - 5. Na,Na-シオクタノイルリジン

#### 特開昭 62-242623 (14)

- 6. N°- ペンナイルリジン
- 7. Na, Na シシクロプロペンカルポニルリジン
- 8. Na.N'- ジエトキシカルポニルリジン
- 9. Na.N'-シペンプイルリジン
- 31. 5-ヒドロキシリジン誘導体
- - 2. Na, Na シベンソイル 5 ヒドロキシリシン
  - N<sup>a</sup> (1 フェニル 1 シクロペンタンカル ポニル) - 5 - ヒドロキシリジン
  - 4.  $N^{\alpha} \left( (2 7 = \nu 2 \nu) / (2 \nu) \right)$  $7 + 7 + \nu$
  - N°- (1-フェニル-1-シクロペンタンカ ルポニル)-5-ヒドロキシリジン
  - N<sup>a</sup> [(2 フェニル 2 シクロペンチル) Tセ チル ] - 5 - ヒドロキシリジン
- 32. アルギニン誘導体
- 32-1. Na-ヘプタノイルアルギニン
  - 2. Na- (2-メトキシペンソイル)アルギニン

- 34-5. N<sup>α</sup> ( 4 n ナトキシベンゾイル ) N\* メチルリジン
  - N<sup>α</sup> (3 スルホベンダイル)-N<sup>4</sup> メチルリソン
  - 7.  $N^{\alpha}$  シクロプタンカルポニル  $N^{\alpha}$  メチルリジ
  - 8.  $N^{\alpha}$   $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$
  - 9. Na-フェニルアセチル・Na-メチルリジン
  - N<sup>a</sup> n プロポキシカルポニル N<sup>e</sup> メチル リジン
- 35. システイン誘導体
- 35-1. N-フェニルアセチルシステイン
- 36. メチオニン誘導体
- 36-1. N- パレリルメチォニン
  - 2. N-アクリロイルメチオニン
  - 3. N・メタクリロイルメチオニン
  - 4. N ベンソイルメチオニン
  - 5. N ( 4 トルオイル ) メチオニン

- 33. N<sup>3</sup> シメチルオルニチン 誘導体
- 33-1.  $N^{\alpha}$  ヒパロイル  $N^{\delta}$  ジメチルオルニチン
  - 2.  $N^{\alpha}$   $\chi$   $\chi$
  - 3. Nα- アクリロイル- N<sup>δ</sup>- ジメチルオルニチン

  - N<sup>a</sup>- (4 ヒドロキシベンソイル) N<sup>b</sup>- ジメ チルオルニチン
  - 6.  $N^{\alpha}$   $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$  +  $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$  +  $\mathcal{V}$   $\mathcal{V}$
  - N<sup>α</sup> ( (2 フェニル 2 メチル ) アセチル]
     N<sup>δ</sup> ジメチルオルニチン

  - 9.  $N^{\alpha}$  n-  $\mathcal{T}$   $N^{\beta}$   $\mathcal{I}$   $\mathcal$
- 34. N'-メチルリジン誘導体
- 34-1. Na- ヘキサノイル Na-メチルリジン
  - 2.  $N^{\alpha}$  J + J + J + J +  $N^{\alpha}$  J +
  - 3. N<sup>α</sup>- アクリロイル N<sup>4</sup> メチルリジン
  - 4. Nα- ペンソイル N\*- メチルリジン
- 36-6. N-(4-メトキシベングイル)メチオニン
  - 7. N-(4-アミノベングイル)メチオニン
  - 8. N シクロペンタンカルポニルメチオニン
  - 9. N-シクロヘキサンカルポニルメチオニン
  - N (1 フェニル 1 シクロヘキサンカルボニル)メチオニン
  - 11. N-フェニルアセチルメチォニン
  - 12. N [(2-フェニル-2-メチル)アセチル] メチオニン
  - 13. N-メトキシカルポニルメチオニン
  - 14. N-エトキシカルポニルメチオニン
  - 15. N-n-プトキシカルポニルメチオニン
  - 16. N ペンジルオキシカルポニルメチオニン
  - N (4 メチルベンジルオキシカルポニル)
     メチオニン
  - 18. N ペンソイルクリシルメチオニン
  - 19. N- (4-メトキシベンソイル) クリシルメチ オニン
  - 20. N ベンジルオキシカルポニルグリシルメチオニン
  - 21. N ベンソイルペリルメチオニン
  - 22. N シクロペンタンカルポニルメリルメチオニン

#### 特開昭62-242623 **(15)**

- 23. N-エトキシカルポニルパリルメチオニン
- 37. エチオニン誘導体
- 37-1. N-n-アチリルエチオニン
  - 2. · N ベンソイルエチオニン
  - 3. N ( 4 トルオイル ) エチオニン
  - 4. N-(3-トルオイル)エチオニン
  - 5. N-(4-n-プチルペンプイル)エチオニン
  - 6. N-(4-ヒドロキシベンソイル)エチオニン
  - 7. N-(4-アミノベンソイル)エチオニン
  - 8. N-(3-スルホペンソイル)エチオニン
  - 9. N (1 フェニル 1 シクロプロペンカル ポニル)エチオニン
  - 10. N フェニルアセチルエチオニン
  - 11. N-メトキシカルポニルエチオニン
  - 12. N エトキシカルポニルエチオニン
  - 13. N-ベンジルオキシカルポニルエチオニン
  - 14. N-(4-メトキシベンジルオキシカルポニル)
  - 15. N-シクロヘキサンカルボニルエチオニン
- 38. S-カルポキシメチルシステイン誘導体
- 38-1. N -... プロピオニル-S-カルポキシメチル システイン
- 39-6. N エトキシカルポニル S ベンジルシステイン
  - 7. N-n-プロポキシカルポニル-S-ベンジルシステイン
  - N ( 4 ヒドロキシベンジルオキシカルポニル ) S ベンジルシステイン
- 40 メチオニンスルホキシド誘導体
- 40-1. N- (4-トルオイル) メチオニンスルホキ シド
  - 2. N ペンチルオキシカルポニルメチオニンスル ホキシド
  - N ペンジルオキシカルポニルメチオニンスルホキシド
- 41. エチオニンスルホキシド誘導体
- 41-1. N-ベンソイルエチオニンスルホキシド
  - 2. N ベングルオキシカルポニルエチオニンスルボキシド
- 42. メチニンスルホン誘導体
- 42-1. N (1 ナフトイル)メチォニンスルホン
  - 2. N-シクロヘキサンカルポニルメチォニン スルホン
  - N ペンチルオキシカルポニルメチオニンスルホン

- 2. N-アクリロイル-S-カルポキシメチルシステイン
- 3. N ベンゾイル S カルポキシメチルシステイン
- 4. N (4 トルオイル) S カルポギシメチ ルシステイン
- N (4 メトキンベンゾイル) S カルポ キシメチルシステイン
- 6. N-(4-n-アトキシベンゾイル)-S-カ ルポキシメチルシステイン
- N シクロヘキサンカルポニル-S カルボキシメチルシステイン
- 8. N (1 フェニル 1 シクロペンタンカル ポニル) - S - カルポキシメチルシステイン
- 9. N (α メチルペンジルオキシカルボニル)- S カルボキシメチルシステイン
- 39. S-ベンジルシステイン誘導体
- 39-1. N-ベンソイル-S-ベンジルシステイン
  - N (4 ヒドロキシベンゾイル) S ベン ジルシステイン
  - N (3 スルホベンゾイル) S ベンジルシステイン
  - N シクロプロペンカルポニル-S ペンジルシステイン
  - 5. N-メトキシカルポニル-S-ベンジルシステイン
- 43. システイン 改誘導体
- 43-1. N-(4~トルオイル)システイン酸
  - 2. N‐(1‐ナフトイル)システイン設
  - N-(3-ヒドロキシ-2-ナフトイル) システイン設
  - 4. N-(1-フェニル-1-シクロヘキサンカル ポニル)システイン酸
- 44. セリン誘導体
- 44-1. N-オクタノイルセリン
  - 2. N-ペンプイルセリン
  - 3. N (3 トルオイル)セリン
  - 4. N-(4-メトキシベンソイル)セリン
  - 5. N-(1-ナフトイル)セリン
  - 6. N-(1-フェニル-1-シクロペンタンカル ポニル)セリン
  - 7. N ペンジルオキシカルポニルセリン
  - N (α メチルペンジルオキシカルポニル)セリン
- 45. 0-メチルセリン誘導体
- 45-1. N ペレリル O メチルセリン
  - 2. N-ペンソイル-〇-メチルセリン
  - N シクロヘキサンカルポニル 0 メチルセリン

#### 特開昭 62-242623 (16)

- 4. N-フェニルアセチル・O-メチルセリン
- N-((2-フェニル-2-メチル)アセチル]
   -0-メチルセリン
- 5. N-(3-フェニルプロピオニル)-0-メチ ルセリン
- 7. N-フェネチルオキシカルポニル-O-メチル セリン
- 46. トレオニン誘導体
- 46-1. N ヘキサノイルトレオニン
  - 2. N-ノナノイルトレオニン
  - 3. N-ベンソイルトレオニン
  - 4. N-(3-ヒドロキシ-2-ナフトイル)トレ オニン
  - 5. N-シクロヘキサンカルポニルトレオニン
  - 6. N-((2.2 ジフェニル)アセケル)ト レオニン
  - 7. N-n-プトキシカルポニルトレオニン
    - 8. N-ペンジルオキシカルポニルトレオニン
    - 9. N-(4-メトキシベンジルオキシカルポ ニル)トレオニン
- 47. 0-メチルトレオニン誘導体
- 47-1. N-n-プチリル-O-メチルトレオニン
  - 4. N-メトキシカルボニルエトキシニン
- 50. 3 メトキシパリン話単体
- 50-1. N イソパレリル 3 メトキシパリン
  - 2. N-(4-トルオイル)-3-メトキシバリン
  - 3. N-(1-ナフトイル)-3-メトキシパリン
  - 4. N-シクロペンタンカルポニル-3-メトキシバリン
  - 5. N-シクロヘキサンカルポニル-3-メトキシ パリン
  - 6. N-メトキシカルポニル-3-メトキシバリン
  - 7. N-エトキシカルポニル-3-メトキシバリン
- 51. 3-フェニルセリン誘導体
- 51-1. N-プロピオニル-3-フェニルセリン
  - 2. N (4 アミノベンソイル) 3 フェニルセリン
  - 3. N-(1-ナフトイル)-3-フェニルセリン
  - 4. N ペンゾイル-3-フェニルセリン
  - 5. N-シクロヘキサンカルポニル-3-フェニル セリン
  - 6. N-フェニルアセチル-3-フェニルセリン
  - 7. N-メトキシカルポニル-3-フェニルセリン
  - 8. N- カーナトキシカルポニル 3 フェニルセリン

- 2. N (4 メトキシベンソイル) 0 メチルトレオニン
- 3. N-(1-ナフトイル)-0-メチルトレオニン
- N-(1-フェニル-1-ンクロペンタンカル ポニル)-O-メチルトレオニン
- 5. N-エトキシカルポニル-O-メチルトレ オニン
- N (3 フェニルプロポキシカルポニル) 0 - メチルトレオニン
- 48. ホモセリン醇導体
- 48-1. N ヘプタノイルホモセリン
  - 2. N マンソイルホモセリン
  - 3. N-(3-メトキシベンソイル)ホモセリン
  - N ((2-フェニル-2-シクロペンチル) アセチル)ホモセリン
  - N-(4-ヒドロキシベンジルオキシカルポニル) ホモセリン
  - 6. N ( 4 メチルベンジルオキシカルポニ ル)ホモセリン
- 49. エトキシニン誘導体
- 49-1. N ペンソイルエトキシニル
  - 2. N-(4-n-アトキシベンソイル) エトキシニン
  - 3. N-シクロヘキサンカルポニルエトキシニン
  - 9. N ベンジルオキシカルポニル 3 フェニルセリン
  - N (α メチルペンジルオキシカルポニル)
     3 フェニルセリン
- 52. 3-メチルフェニルアラニン誘導体
- 52-1. N-アセチル-3-メチルフェニルアラニン
  - 2. N-ヘキサノイル-3-メチルフェニルアラ
  - 3. N‐ベンソイル・3‐メチルフェニルアラニン
  - 4. N-(4-アミノベンソイル)-3-メチルフェニルアラニン
  - 5. N (3 スルホペンソイル) 3 メチルフェニルアラニン
  - N シクロプタンカルポニル 3 メチルフェニルアラニン
  - N シクロペンタンカルポニル 3 メチルフェニルアラニン
  - N フェニルアセチル 3 メチルフェニルア ラニン
  - 9. N-イソプロポキシカルポニル-3-メチルフェニルアラニン
  - 10. N-n-アトキシカルポニル-3-メチルフェニルアラニン
  - N (4 アミノベンジルオキシカルポニル)
     3 メチルフェニルアラニン

- 53. ヒスチジン誘導体
- 53-1. N アセチルヒスチジン
  - 2. N ヘキサノイルヒスチジン
  - 3. N-アクリロイルヒスチジン
  - 4. N メタクリロイルヒスチジン
  - 5. N ペン ソイルヒスチ シン
  - 6. N ( 4 トルオイル ) ヒスチジン
  - 7. N‐(4-メトキシペンソイル)ヒスチジン
  - 8. N ( 4 n プトキシペンソイル) ヒスチジン
  - 9. N シクロペンタンカルポニルヒスチジン
  - 10. N シクロヘキサンカルポニルヒスチソン
  - 11. N (1 フェニル 1 シクロペンタンカルポニル) ヒスチジン
  - 12. N フェニルアセチルヒスチジン
  - 13. N [(2 フェニル・2 シクロペンチル) ア セチル] ヒスチジン
  - 14. N ( 4 メトキシベンジルオキシカルボニル ) ヒスチジン
  - 15. N ペンソイルクリシルヒスチジン
  - 16. N (4 n プチルペンソイル) クリシルヒス チジン
    - N フェネチルオキシカルポニル 2 メチル アラニン
  - 56. 2-メチルセリン誘導体
  - 56-1. N パレリル-2-メチルセリン
    - 2. N-オクタノイル-2-メチルセリン
    - 3. N-ペンプイル-2-メチルセリン
    - 4. N-(2-トルオイル) 2 メチルセリン
    - 5. N (4 メトキシベンソイル) 2 メチル セリン
    - 6. N-(1-ナフトイル)-2-メチルセリン
    - N シクロペンタンカルポニル 2 メチルセリン
    - 8. N [ ( 2,2 ジフエニル ) アセチル ] 2 -メチルセリン
    - N ペンチルオキシカルポニル 2 メチルセリン
  - 57. 2 ビドロキシイソロイシン誘導体
  - 57-1. N パレリル 2 ヒドロキシイソロイシン
    - 2. N ヘプタノイル 2 ヒドロキシイソロイシン
    - 3. N‐ペンソイル‐2‐ヒドロキシイソロイシン

- 17. N フェニルアセチルグリシルヒスチジン
- 18. N エトキシカルポニルグリシルヒスチソン
- 19. N ベンジルオキシカルポニルグリシルヒスチ ジン
- 20. N ペンソイルケリシルケリシルヒスチジン
- 21. N エトキシカルポニルグリシルグリシルヒス チョン
- 22. N ベンジルオキシカルポニルグリシルグリシルとスチジン
- 23. N t ブトキシカルボニルヒスケジン
- 54. トリプトファン誘導体
- 54-1. N ( 4 ヒドロキシベンゾイル ) トリプトファン
  - 2. N‐ベンジルオキシカルポニルトリプトファン
- 55. . 2 メチルアラニン誘導体
- 55-1. N --- プロピオニル-2-メチルアラニン
  - 2. N ペンゾイル 2 メチルアラニン
  - 3. N (3 トルオイル) 2 メチルアラニン
  - 4. N (3 メトキシベンソイル) 2 メチル アラニン
  - 5. N シクロプタンカルポニル 2 メチルアラニン
  - 6. N フェニルアセチル 2 メチルアラニン
  - 4. N (4 n アチルペンソイル) 2 ヒドロキシイソロイシン
  - 5. N (3 ヒドロキシ 2 ナフトイル) 2 - ヒドロキシイソロイジン
  - N シクロヘキサンカルポニル 2 ヒドロキシイソロイシン
  - N フェニルアセチル 2 ヒドロキシイソロイシン
- 58. 2 メチルメチオニン誘導体
- 58-1. N ヘキサノイル 2 メチルメチオニン
  - 2. N ベンソイル 2 メチルメチオニン
  - N (4 ヒドロキシベンゾイル) 2 メチルメチオニン
  - 4. N-n-プロポキシカルポニル-2-メチルメ. チオニン
  - -5. N イソプロポキシカルボニル 2 メチルメ チオニン
- 59. 2 エチルフェニルグリシン誘導体
- 59-1. N-アセチル・2-エチルフェニルグリシン
  - 2. N n プチリル 2 エチルフェニルグリシン
  - 3. N (3 スルホペンソイル) 2 エチルフェニルクリシン

- 4. N エトキシカルポニル 2 エチルフェニル グリシン
- N-n-プロポキシカルポニル・2-エチルフェニルグリシン
- 60 3-アミノブタン酸防導体
- 60-1. N ヘキサノイル 3 アミノプタン収
  - 2. N-ペンソイル・3-アミノブタン酸
  - 3. N (4 メトキシベンソイル) 3 アミノ プタン酸
  - 4. N (3 スルホペンソイル) 3 アミノナ タン酸
  - 5. N-(1-ナフトイル)- 3 アミノプタン酸
  - 6. N シクロプロペンカルポニル 3 アミノナ タン酸
  - 7. N-[(2,2-ジフエニル)アセチル]-3-アミノアタン酸
  - 8. N ( 4 フェニルプチル ) 3 アミノアタン酸
  - 9. N (α メチルペンジルオキシカルポニル)-3 アミノアタン酸
- 61. 3-アミノ-4-メチルパレリアン酸誘導体
- 61-1. N パレリル 3 Tミノ 4 メチルペレリ アン酸
  - 2. N パレリル 3 アミノ 3 フェニルプロ ピオン酸
  - 3. N ベンゾイル 3 アミノ 3 フェニルプロピオン酸
  - N-(4-アミノベンソイル)-3-アミノ-3-フェニルプロピオン設
  - N シクロプロペンカルポニル 3 丁ミノ 3 フェニルプロピオン酸
  - N シクロプタンカルポニル 3 アミノ 3
     フェニルプロピオン酸
  - 7. N-シクロペンタンカルポニル-3-アミノ-3-フェニルプロピオン酸
  - 8. N メトキシカルポニル 3 アミノ 3 フェニルプロピオン酸
  - N-n-プロポキシカルポニル-3-アミノ-3-フェニルプロピオン酸
  - 10. N n プトキシカルポニル 3 アミノ 3 - フェニルプロピオン段
  - N (4 アミノベンジルオキシカルポニル)
     3 アミノ 3 フェニルプロピオン酸
- 63. 3-アミノ・2-ヒドロキシプロピオン阀誘導体
- 63-1. N パレリル 3 アミノ 2 ヒドロキシプ ロピオン酸

- N-イソペレリル-3-Tミノ-4-メチルペレリアン酸
- 3. N ヘプタノイル 3 Tミノ 4 メチルパ レリアン酸・
- 4. N ペンソイル 3 アミノ 4 メチルパレ リアン酸
- N-(3-トルオイル)-3-アミノ-4-メ チルパレリアン酸
- N-(3-スルホペンソイル)-3-アミノ-4-メチルバレリアン酸
- 7. N- (1-ナフトイル) 3 アミノ 4 メ チルパレリアン酸
- 8. N-フェニルアセチル-3-アミノ-4-メチ ルパレリアン酸
- 9. N (3 フェニルプロピオニル) 3 アミ ノ - 4 - メチルパレリアン酸
- N-n-プトキシカルポニル-3-アミノ-4 -メチルペレリアン酸
- N-(4-メチルペンジルオキシカルボニル)
   3-アミノ-4-メチルパレリアン酸
- 62. 3 アミノ・3 フェニルプロピオン酸誘導体
- 62-1. N-n-ナチリル-3-アミノ-3-フェニル プロピオン酸
  - 2. N ヘプタノイル 3 アミノ 2 ヒドロキ シプロピオン酸
  - N ペンソイル 3 アミノ 2 ヒドロキシ プロピオン設
  - N-(3-メトキシペンソイル)-3-アミノ -2-ヒドロキシプロピオン酸
  - N シクロヘキサンカルポニル 3 アミノ 2 ヒドロキシプロピオン酸
  - N ペンジルオキシカルポニル 3 アミノ 2 ヒドロキシプロピオン酸
  - N (3 フェニルプロポキシカルボニル) T ミノ 2 ヒドロキシプロピオン設
- 64. 4-アミノ-3ヒドロキシブタン酸筋導体
- 64-1. N イソプチリル- 4 アミノ- 3 ヒドロギ シブタン酸
  - N-デカノイル-4-アミノ-3-ヒドロキシナタン設
  - 3. N ペンソイル 4 アミノ 3 ヒドロキシ プタン段
  - 4. N-(2-トルオイル)- 4-アミノ-3-ヒ ドロキシブタン 俊
  - N-(3-アミノベンソイル)-4-アミノ-3-ヒドロキシアタン設

- 6. N-(1-フェニル-1-シクロヘキサンカル ポニル) - 4 - アミノ3 - ヒドロキシブタン酸
- 7. N-[(2-フェニル-2-メチル)アセチル] - 4-アミノ-3-ヒドロキシプタン鍛
- 8.N-(4-メトキシベンジルオキシカルポニル) - 4 - アミノ - 3 - ヒドロキシブタン餃

また、前記一般式(1)を有するアミノ政誘導体は、 その薬埋上許容しりる塩としても使用しりる。こ のような塩としては例えばナトリウム、カリウム などのアルカリ金属塩、カルシウムなどのアルカ り土類金履塩、およびマグネシウム塩、アルミニ ウム塩、鉄塩、亜鉛塩、銅塩、ニツケル塩および コパルト塩などの金属塩:アンモニウム塩:グル コサミン、ガラクトサミンなどの有傚アミン塩が あげられる。

本発明の製剤は常法に従って製造される。即ち、 前記一般式(I)を有するアミノ設誘導体はそれ自体 で水に対する溶解度が低い。従って、前記一般式 (1)を有するアミノ酸誘導体の分散液に、水酸化ナ トリウム、水酸化カリウムのような金属化台物ま たは医婆として使用可能なアミン誘導体(例えば

ポキシ-8-オキソ-7-[(2-チエニルアセ) チル)アミノ] - 5 - チア - 1 - アザピシクロ [ 4.2.0 ] オクトー2ーエン・3 - イル]メチル} ピリシニウム水酸化物 〕5 8 を啓解した後、全量 を1002とした。

#### 災施例 2 セファロリジン

他のイナム型またはカルパイナム型抗生物質を よび他の前記一般式(I)を有するアミノ酸勝導体を 使用して実施例1と同様にすると表2に記載の所 望の製剤が得られた。

#### 奨験例1

実施例1で得られた製剤を家兎(体重約3kg) に3ml/kg量(即ち、セフアロリジン150mg/ 以 + N== N<sup>e</sup> - ペンソイルアミノカプロン殴150 49/kg)を耳静脈より注入した。比較対象として、 奥施 例 1 に おいて N゚ - ペンソイルアミノカ プロン 酸を配合しない製剤を得、これを上記と同様に決 兎に往入した。1週間後に両家兎の腎臓を剖検し た結果、Nº・ペンソイルアミノカプロン酸を配合 しない嬰剤を投与した家兎は脊膜にかける組織変

アンモニア、クルコサミン、ガラクトサミンなど のアミノ旭)の水浴液を加えて出る~9の超田で 調整して溶解する。この溶液にセフアロスポリン 型抗生物質セフアロリジンを加えることによって 所選の奨削が得られる。本設剤はさらに所選によ り深結乾燥製剤としてもよい。なお、前配一般式 (1)を有するアミノ放勝将体をセフアロリジンに配 合するに際して、その並は特に限定はないが好ま しくは 頃 准 比 で 1/10 ~ 4 倍 である。ま た 、 投 与 方 法は通常、静脈内投与が好ましい。

次に異施例なよび実験例をあげて本発明を更に 詳細に説明するが、本発明はこれらに限定される ものではない。

#### 実施例1

N - ペンプイルアミノカプロン殴58を秤量し、 次いで水80吨に分散した。この分散液に1N-水酸化ナトリウム水溶液を徐々に加えてN°-ペ ンソイルアミノカプロン設を俗解した。この時の Hは1~8であった。次いでこの溶液にセフアロ リジン〔(6 R - トランス) - 1 - { [ 2 - カル

化が認められたが、 N゚ - ペンプイルアミノ カプロ ン酸を配合した製剤を投与した家鬼は腎臓におけ る組織変化が全く認められなかった。

#### 爽殿例2

セフアロリシンおよび他の前記一般式(1)を有す るアミノ改誘導体を使用した製剤について、同様 の実験を行なった。結果を表えて示す。

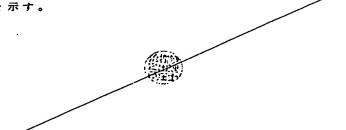
また、 炭 2 の効果の個における各符号は

##: 腎臓における組織変化が全く認められな いまでに改善された

#: 腎臓における組織変化が殆ど認められな い程度にまで改善された

+:腎臓にかける組織変化が非常に改善され た

を示す。



|        | <del></del>     |                      |                     |                   | <u> </u>                   |                              |                    |                          |                        |                                |   | _               |                   |             |                |                  |                   |               |                 |     |                        |                 |                     |                          |                |                     |                        |                     |
|--------|-----------------|----------------------|---------------------|-------------------|----------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------------|---|-----------------|-------------------|-------------|----------------|------------------|-------------------|---------------|-----------------|-----|------------------------|-----------------|---------------------|--------------------------|----------------|---------------------|------------------------|---------------------|
|        | 故录              | +                    | +                   | #                 | #                          | #                            | <b>\$</b>          | <b>‡</b>                 | +                      | #                              | #   | <b>#</b>        | #                 | <b>‡</b>    | +              | <b>‡</b>         | #                 | #             | #               | +   | +                      | <b>‡</b>        | #                   | #                        | ‡              | <b>+</b>            | · <b>†</b>             | +                   |
|        | 配合群<br>5//s     | 150                  | 150                 | 150               | 150                        | 0 5 1                        | 150                | 150                      | 150                    | 150                            | 200   | 150             | 150               | 150         | 150            | 150              | 150               | 150           | . 150           | 200 | 150                    | 150             | 150                 | 150                      | 150            | 150                 | 150                    | 150                 |
| 2 - 24 | アミノ酸砂等体         | N-1-プトキンカルポニル-β-ブラニン | N-ペンシイルグリシル- β-ブラニン | N-ムンンイグ-4-Tベノンダン酸 | N-シクロヘキサンカゲチボケー5-ナベノベアリナン関 | N・スンジケムキシカトキニア・5・フェノ ベアリコン 数 | N-スングイグ-6-ブミノヘキサン段 | N・n・プトキンカルポール・6・ブミノヘキサン設 | N-(1-ナフトイル)-6-アミノヘキサン設 | N - ムンジテオキシカケポータ・6 - T %ノヘキサン酸 | A. C. L. C. | (10x(x/4x4-4)-N | N-シクロヘキサンカルボールバリン | N-ムングイ チュリン | Nーペンゲイルグリシルペリン | N-t-ブトキンカルポールパリン | N-インシアオキシカアポーアバリン | N - ムンシイプロイツン | N-ペングイルフェニルグリシン | •   | N-シクロヘキサンカルポニルフェニルグリシン | N-ペングイルフェニル丁ラニン | N-エトキシカルボニルフェニルブラニン | N - ペンジかオキシカやポニアフェニをブラニン | NAK -ンムンンイチョウン | Na.No - シュンシュアオアニチン | ・N - ツクロヘキサンカアポートにメチジン | N -n-ントキンカルサールメチャーン |
|        | セファロリジン 配合性 吸入ゆ | 150                  | 150                 | 150               | 150                        | 150                          | 150                | 150                      | 150                    | 150                            | 200   | 150             | 1,50              | 150         | 150            | 150              | 150               | 150           | 150 .           | 200 | 150                    | 150             | 150                 | 150                      | 150            | 150                 | 150                    | . 150               |

表2から明らかの如く、前記一般式(I)を有する アミノ俊誘導体を配合した場合は配合しない場合 に比べて著しく良好な効果を示した。

> 特許出願人 三 共 株 式 会 社 代 埋 人 弁理士 樫 出 庄 治

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.